

防災地質研究所ニュースレター

2018.06

§ 鹿児島県の火山状況

表 鹿児島県防災 WEB

近年日本の火山活動は活発になり、桜島や新燃岳等の噴火に関するニュースをよく目にします。

火山を多く抱える鹿児島県にはこうした火山状況を一目で確認出来るホームページがあります。(鹿児島県防災 WEB 噴火警報、予報 http://www.bousai.pref.kagoshima.jp/pub_web/w0203/contents.html)

これらを活用し、普段の暮らしや防災の参考にする事も必要であります。

:: 噴火警報・予報		
火山名	発表時刻	レベル
霧島山	2016年12月06日 14時00分	活火山であることに留意
霧島山 (御鉢)	2018年03月15日 11時00分	レベル1 (活火山であることに留意)
霧島山 (新燃岳)	2018年03月15日 11時00分	レベル3 (入山規制)
霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	2018年05月01日 14時00分	レベル2 (火口周辺規制)
桜島	2016年02月05日 19時13分	レベル3 (入山規制)
開聞岳	発表はありません	
薩摩硫黄島	2018年04月27日 14時00分	レベル1 (活火山であることに留意)
口永良部島	2018年04月18日 11時00分	レベル2 (火口周辺規制)
中之島	発表はありません	
諏訪之瀬島	2007年12月01日 10時06分	レベル2 (火口周辺規制)

§ 世界の危険な火山

鹿児島県だけでなく日本列島には数多くの火山がありますが、世界と比べると日本の火山の危険度はどのようなものなのか見てみましょう。

2015年にイギリスのマンチェスター大学のアルバート・ザイルストラ教授らが発表した「世界でもっとも危険な火山 10」は、

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1位：硫黄島 (東京都小笠原村) | 6位：アグン山 (インドネシア) |
| 2位：アポヤケ山 (ニカラグア) | 7位：カメルーン山 (カメルーン) |
| 3位：フレグレイ平野 (イタリア) | 8位：タール山 (フィリピン) |
| 4位：阿蘇山 (熊本県) | 9位：マヨン山 (フィリピン) |
| 5位：トランスメキシコ火山帯 (メキシコ) | 10位：ケルート山 (インドネシア) |

日本は二つもランクインしている結果です。特に1位の硫黄島は噴火の際には高さ 25m ほどの大津波が日本列島や香港を襲う危険があると言われます。25m といえば、最大 21m だったとされる 2011 年の東日本大震災での津波を上回る破滅的規模であり、火山活動の危険を知っておくことは非常に大事な事だと言えます。

○硫黄島について

上記の1位選出された硫黄島ですが、これは東京都に属しており、鹿児島県にも同じ名前の硫黄島があります。これを区別するために鹿児島県の硫黄島は薩摩硫黄島（さつまいおうじま）と呼称します。また、東京都の硫黄島は（いおうとう）と呼ばれることが多いようです。意外と間違いやすいので注意が必要です。薩摩硫黄島は1999年から2004年まで毎年噴火が起きましたが、その後は東京都の硫黄島も特に目立った噴火活動はなく穏やかですが、今後異変などがいないか注視していかなければならないと思います。



図 薩摩硫黄島と東京都・硫黄島

背景図は国土地理院「地理院地図」、衛星画像はGoogleEarthを引用している。衛星画像は同スケールにて並記している。

株式会社 防災地質研究所
〒892-0816 鹿児島市山下町 12-8-405
Tel & Fax : 099-239-6122 Email : info@dpgi.jp
URL : <http://www.dpgi.jp/>